



鎌ヶ谷市議会議員
都市・市民生活常任委員会
会派 政友会

原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。

鎌ヶ谷市道野辺本町1-11-8 ☎445-3466

HP 原八郎

検索

今月号の項目

一、三月定例議会

議案二〇件、全て可決
陳情七件中五件継続、二件採択
平成三〇年度予算案 可決

二、三月議会一般質問

①市長の掲げる安心安全な街づくりとは？

- ・歩行者や車いす利用者の安全な歩道が確保されているか。
- ・木下街道の歩道整備、障害物が、通行を妨害していないか。
- ・馬込沢・鎌ヶ谷大仏間の歩道狭く、凸凹がひどく車いすや歩行者も通行に難儀している。
- ・歩道を消火栓の表示のポールが通行を妨害している。

②空き家条例施行の現状

三、自転車事故で九千五百万円賠償支払い判決

四、保育休暇手当支給、三歳児まで月額十万〜十五万円

五、子宮頸がん検診率、向上策

六、「脳トレいきいきサロン」サポーター募集中

七、原八郎のルーツ「歩」三十九回先輩からの恩、どの様に返したらいいのか。

一、三月定例議会

三月議会、問題なく全て終了。

二、三月議会一般質問

①市長の安心安全な街づくりのイメージを質す。

木下街道の歩道の整備が遅れ、狭く凸凹があり歩行者や、自転車を押して通るのも困難、ましてや車いすの通行はより困難である。

排水U字溝の上だけの歩道の箇所も数カ所あり、高齢者や障がい者は危険と隣り合わせで通行している。

安心安全な街づくりを提唱する、市長にここは欠けていませんかと指摘した。消火栓表示のポールが歩道の中央にあり、車いすの通行を困難にしているところを指摘し、撤去する方向で検討すると回答を得た。三月十日の朝日新聞千葉版に写真入りで掲載されました。

②空き家条例施行の現状を質す。

空き家の件数は二一八軒、六件が所有者不明。この六件が固定資産税が未納です。

三、自転車事故で九千五百万円賠償

神戸で小学五年生が自転車で暗い坂道を下った際、六二歳の女性と正面衝突。脳挫傷の重傷。命はとりとめました。意識障害、四肢拘縮の後遺症が残り、被害者側の裁判を起こすと、神戸地裁が自転車事故の加害者に九千五百万円の賠償責任命令を下しました。加害者は未成年ですから、監督責任のある保護者が支払いの義務を負います。

皆様は自転車事故にも対応する個人賠償保険に加入していますか。

四、乳幼児の待機児童対策提言

前回も掲載しましたが、待機児童は改善

されません。発想の転換と、視点を変えて見直しが必要です。先日、厚生労働省の若手役人四人と総務省の役人一人と机を囲んで、話し合いを二時間ほど致しました。私の主張を検討し、上層部へ意見を上げてもらうように頼みました。数人の国会議員にも上訴しています。

【私の主張】

乳幼児の三歳までの保育が人格形成に最も大切であることから、三歳児まで保育園でなく、保護者が育てるべきであり、この時期が一番愛情が必要なのです。

三歳までにしか発達しない大切な脳細胞があります。眼窩前頭皮質です。誕生時の脳の重さは、平均五〇〇gで、成人二〇歳で最高で一五〇〇gです。三歳までに、なんと一三〇〇gまで成長するのです。眼窩前頭皮質は愛情豊かな環境で育てられることが必要不可欠なのです。物事の判断や感情のコントロール、物事への解決対応をする前頭葉へ情報を送る役割が眼窩前頭皮質なのです。三歳までの子育ては大切にしなければなりません。預けて愛情が充分満たされるでしょうか。

未発達のまま成長すると感情のコントロールや対人との対応の仕方もうまくいかず、暴力的になったり、閉じこもりになったり、他人との交わりが苦手となってしまう。いわゆる問題児です。少年院の調査では、入所者の子供の幼少期の愛情不足が顕著に表れています。

そこで提案いたします。国が企業に三年間の育児休暇と復職を義務付ける法律を作るのです。

保育休暇手当を月額十万〜十五万円支給します。財源は保育園に運営費として自治体が補助している運営費を当てます。運営費補助は園児一人当たり年間百五十万円程です。〇歳から三歳児未満一人当たり二百五十万円程の助成金です。この金額を保育休暇手当に回せば充分足りります。

経済的理由で共働きしている夫婦で心に余

はら はちろう

原 八 郎

鎌ヶ谷市議会議員
都市・市民生活常任委員会
会派 政友会



原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。

鎌ヶ谷市道野辺本町1-11-8 ☎445-3466

HP

原八郎

検索

裕がない状態で、子供のことや家計や家事等のトラブルが原因で離婚してしまうケースが増えています。

これが貧困家庭問題の原因です。保育休暇を取り、保育休暇手当を支給されることで大きく解決に向かうはずですが、心に余裕ができません。少子化問題も改善します。

ここで、母子手帳の副読本のことについて触れます。戦後の食糧不足の時期、米国から援助をいただき生き延びてきました。栄養不足で母乳が不足し、乳幼児の成長不足が問題となり、昭和二十年代中頃から粉ミルクが入ってきました。当時は母乳よりミルクの方が栄養価が高いと宣伝され、普及いたしました。米国がミルクの輸出増加を狙ったのか、「母乳よりミルクの方が子育てにいいよ」との情報により、厚生省も母子手帳の副読本に「おんぶ・だっこ・添い寝・おっぱいは、ほどほどに」の文章が掲載されました。

その後、二〇〇一年にユニセフが子供白書で「子育てには添い寝・おんぶ・抱っこ・おっぱいは大切ですよ。」との主張から、二〇〇四年より副読本の記述が改まり、現在の副読本となっております。五〇年を超える長い間、間違った子育てが推奨されてきたわけです。スキンシップの不足により温かいぬくもりのある心が不足し、様々な問題が起きてきました。

愛情豊かな大人に育てられる子供は幸せです。子育てを他人に預けるのでなく三歳までは、親が愛情豊かに育てることを、もう一度考えてみませんか。

五、子宮頸がん検診の促進策

子宮頸がん検診の促進議員連盟の会長の野田聖子総務大臣にも進言

子宮頸がんの検診率は30%ほどです。妊産婦の検診を含めてもです。

ウイルスに感染して運悪く潜伏しても、前がん症状が出てくるのに十年程かかりません。尚且つ、前がん症状が発症してから、

五年ほどしてからがんに移行します。ですから、この五年の内に検診を受け、前がん状態が発見されたら、治療をすれば、がんにならずに済みます。

子宮頸がん検診の促進議員連盟の会長の野田聖子総務大臣に検診の促進のための、提言をしました。その提言とは、なぜ検診率が低いのかを考えれば、男性の産婦人科医師に局部を開いて見せることへの抵抗はないでしょうか。

【提案内容】

女性の看護士さんに特別研修を受けてもらい、検診ができるように医師法の改正または運用を拡大し、検診率を向上させる。女性の抵抗感を少なくし、検診率を上げるべきです。検診率を欧米並みの60%にするには必要な方法と進言。

子宮頸がんの原因ウイルスの感染を防ぐ「ヒトアロマーウイルス(HPV)ワクチン」の接種について、厚生労働省が積極的な勧奨を中止してから、六月で五年になります。接種の有効性を示す報告がある一方で接種後に長引く痛みなど様々な症状を訴える例が相次いでいます。どちらを重く見るべきか、意見が分かれています。現在二千数百人の子供が副作用で苦しんでいるのも事実です。私は接種が始まる五年前にこのことを取り上げ、全国的に無料で接種できるのだから、という流れであったが、私一人、鎌ヶ谷市は、二・三年、様子を見るべきだと、主張し、接種に反対しました。接種が始まって三ヶ月後には勧奨を中止することになりました。現在に至っています。私の心配したとおりになってしまいました。

ワクチン接種でなく検診率を向上させることで、子宮頸がんを防ぎ、患者を減らすことをすべきです。

六、「脳トレ」ごきごきサロン」

認知症にならないための予防教室です。

サポーター募集中
連絡先 小林 443・2517

六十五歳以上の高齢者の認知症患者の全国平均は十六%、鎌ヶ谷市は九%です。

十四年前に京都で開催された脳科学のシンポジウムで簡単な読み書き計算が認知症を防ぐのに大変有効であるという情報を得た。それが東北大学の川島隆太教授の提唱する学習療法です。これを鎌ヶ谷で実施できないかを模索し、行政ではできないとのこと、ボランティアを募り教室を開いて十三年が経ちました。スタッフの皆様の努力の賜です。感謝しています。

「歩み」原八郎のルーツ

第三十九 先輩からの恩、どう恩返しをしたらいいのか。

学生の時いろいろな先輩から、大変世話になり、おごってもらったり、相談に乗ってもらったり、アドバイスを受けました。先輩たちは、地位も高く、経済的にも豊かな方ばかりです。

レンタサイクルを開業するに当たってたくさんの人に世話になった。国会議員を始め、会社経営者や、各方面で、指導的立場にある人達です。レンタサイクルの事業も成功し、富も作れました。どう恩を返したらいいのか悩んだ時期がありました。

ある先輩から、「世話した後輩が成功してくればそれでいいんだ。感謝する気持ちがあったら、後輩たちの面倒を見てやればいいんだ。順繰りだよ。俺も先輩に世話になったんだよ。」

この言葉をもらって、私の心が晴れました。これから夢を実現することを夢見る若者がいたら、手助けしてやれば、先輩への恩返しになるのだ、夢ある若者の手助けをすることが、私の先輩への恩返しにつながるのだと得心した。

世話になった先輩たちへの感謝の気持ちはいつまでも忘れないように、と誓いました。